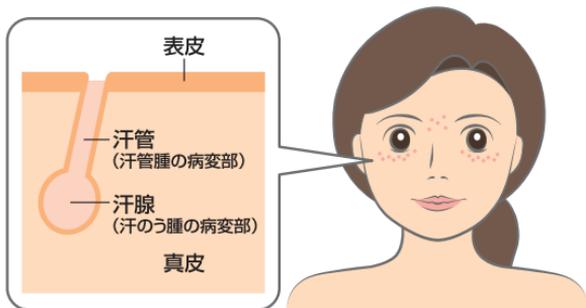


目のまわりのポツポツが軟膏では治りません  
**エクリン汗のう腫または汗管腫の可能性が**  
 立川皮膚科クリニック  
 www.tachikawa-derma.com

汗のう腫・汗管腫の発生部位と組織図



夏になると目の周り、特に目の下を中心にポツポツとした発疹が増えることがあります。この「エクリン汗のう腫」と、それに似た症状の「汗管腫」について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「症状は？」  
 「エクリン汗のう腫は、肌と同じ色の米粒大のポツポツで、皮膚の真皮内にある汗腺の二つ、エクリン腺の汗管が拡張して袋状のう腫を作るものです。40代以上に多く、発汗量の増える6〜9月の時期に悪化し、秋になると軽減する特徴があります。似たような症状にエクリン腺の汗管が増殖して発症する「汗管腫」があります。こちらは季節に関係なく一年を通して発症します」

「治療法は？」  
 「エクリン腺汗のう腫」の場合、悪化する夏の時期に、発汗量を抑える外用薬を処方します。「汗管腫」の場合は、真皮内に病変があるため、表皮に薬を塗っても効果はありません。いずれも良性腫瘍のため、すぐに治療の必要はありませんが、年齢とともに数が増えたり大きくなる場合があります。治療を希望する場合は除去手術を行います。いずれの腫瘍にしても、正しい診断が第一となるため、まずは皮膚科の医師に相談をしてください」

院長：伊東秀記  
 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ  
**☎042-843-1377**  
 JR「立川」駅南口徒歩2分

2019年8月9日付 「リビング多摩」に掲載されました